

島根県 ICT 総合戦略策定委員会（第 1 回）

議事要旨

1. 日時：令和 3 年 5 月 31 日(月)13:30～15:30

2. 場所：島根県職員会館 多目的ホール

3. 次第

- (1)開会
- (2)島根県挨拶
- (3)委員紹介
- (4)会長及び副会長の選出
会長には、野田委員を選出、副会長には、吉岡委員を指名。
- (5)会長挨拶
- (6)議題
 - ・総合戦略の策定趣旨、進め方
 - ・総合戦略骨子及びイメージ 等
- (7)講演
講演者：野田委員（テーマ DX と自治体・地域データの活用とシェアサービス）
村上委員（テーマ 自治体 DX の捉え方と何から取組むか）

4. 出席者：別紙「出席者名簿」のとおり

5. 議事要旨

【行政の効率化等について】

吉岡副会長

- 行政の生産性向上が課題。行政職員の生産性を高めて、自分たちの効率を良くしてほしい。
- 民間企業の中堅職員が転職で行政を目指し、地域経済の活性化からみると問題があると思う。
- （村上委員に聞くが）個人情報保護の問題により行政の効率化はうまくいかないのではないか。

村上委員

- 個人情報の扱いは問題を多く含んでいると思うが、ルールを守れば有効に使って良いということを全職員が理解する必要があると思う。
- 法で安全に保護しつつ有効活用するにはどうすべきか、全国の自治体の取組を参考にするのが良い。
- もう一点、民間人材が県庁行政に転職する件、今世の中全体では人材の流動化が起きており、行政から民間に転職する人も増えている。
- そのため、世の中全体の人々の流動化はもっと進め、民間の発想を行政にも取り入れるという点では良い。だが、安定志向で民間から行政に多くの人々が転職しているのであれば、行政から民間に働きに出る人も同じぐらい増やしていかなければならないと思う。

【デジタルデバインドについて】

吉岡副会長

- 行政がいろいろなことを改革する際、必ずデジタルデバインドの話が拳がり紙をなくせないという点はどのように考えているか。

村上委員

- デジタルデバイド対策は、高齢者にもスマホを使わせなければならないと勘違いをしている人がいる。
- ある自治体が、ワクチンの予防接種の予約受け付けをウェブで行う仕組みを作ったが、ウェブが苦手な人に対し、窓口で代わりに大学生が予約してくれるというサービスを提供している。
- このように、受付はその時の状況に合わせて、紙、Web、電話等多数用意するのが良い。
- ただし、予約受付自体は全部デジタルで統一しないと、内部業務が複雑になる。

三上委員

- 情報弱者になりやすい高齢者の立場から、これから利用者視点に立ってどういう風に進めていただけるか皆さんのご意見もいただきたいと感じた。

【行政のDX等について】

佐竹委員

- 美郷町の現状だが、例えば細かい内部業務などいちいち紙で書いているところに疑問を感じていた。
- 事例で、一つのDXというか、住民サービスのデジタル化の一環でペイペイを窓口の方で導入した。
- こういふものの導入は簡単ではないが、たまたま自分は、財務規則等にある程度精通していたためすぐ導入できた。
- デジタルでの課題解決についても、各部署と連携しながら縦割りをなくし、横の繋がりを持つことが一番大事ではないかと感じている。

岩井委員

- 今、益田市では、押印の見直し作業を進めており、約1500ある手続きのうち8割9割近く押印が廃止できるのではないかと見込んでいる。
- 村上委員の講演の中に、行政手続きのオンライン化をすべきではないというお話があり大変驚いた。
- また、本日の話の中でDXという言葉が主に出てきた。このICT総合戦略は、何を目指していくのか、具体的にDXなのかICTなのか今一度分かりかね、教えていただければ有り難い。

村上委員

- 計画の名前はなんにせよ、DXのような視点を持って計画の中身は検討したほうが良いと思う。
- 行政手続きのオンライン化をすべきでないと言ったのは、オンライン化を自分で行わず、民間が提供しているサービスに契約をしてお金を払い、それを使う方が安くて良いものができるという意味。

【モバイルワーク等について】

金築委員

- 人が減っていくという中で、今島根県は一生懸命人材確保をされており、特に県外在住者に対しUターンを働きかけをされている。
- モバイルワークが可能となり、都市部の方も仕事を持ち帰ることも可能だが、一方で個人情報の管理やセキュリティの問題から、地元の企業のテレワークは進んでいないと思っている。
- 学生に対し、島根ではコロナ感染者が少ないため帰ってきたら良いと言われているが、一方では、モバイルワ

ーク等できない島根に帰るより、都会でモバイルワークで働く方がいいのではないかという学生の声も実際に聞かれていたりする。

- 対応をしていかないと、テレワークが根付くというか、いろんな意味で島根はなくなっていくのでは。
- ぜひ戦略を進めていかれるにあたり、行政も企業も含めて、こういったモバイルワーク等がもっとやりやすくなるような風土になったら良いと、お話を聞きながら思った。
- （モバイルワークを阻む要因は、という問いに対し）モバイルワークでできる部分、できない部分というような整理がなかなかできておらず、ひっくるめて、うちには関係ないとらえる業種がまだ島根には多いかなと思った。
- 学生さんたち若い人たちとか、都会の仕事も島根で行ったらいいのではという話になるが、島根の雇用にまだまだ繋がっていないと思った。

余島委員

- 離島で観光業メインで起業したため、コロナの煽りでいろいろ試行錯誤をしたが、ネットの求人サイトで東京の完全リモート案件がたくさんあり、離島に住んでいながらオンラインで各種対応ができるという発見があった。
- また、行政、民間から情報提供のアプリ、システム、サイトはたくさん生まれると思うが、そういった仕組みが作られても、特に高齢化率が高い島根では、それを使うユーザーが使えるユーザーになっていかない限りは、結局利用されず底上げにはならないのではないかな。
- 先入観もあり、そこを打破していく仕組みなど有り難いのではないかなと思う。特に高齢者の方は横文字を出すすと毛嫌いが進むため、日本語にかみ砕き、周知していかないと駄目ではないかなと思う。
- あと、行政はすごくP D C Aサイクルが好きだが、もう古いというか遅いというか。ここからすでに見直しが必要と感じている。

【島根県 ICT 総合戦略（案）について】

村上委員

- 島根県 I C T 総合戦略のたたき台だが、解決すべき課題をもっと丁寧に詳細に書くべき。
- これはさらっと課題を書いて、I C T でできそうな事業を束ねた 10 年前 20 年前の I C T 戦略の域を出ていないのではないかなというのが正直なところ。
- 課題にもっと精緻にデータを使ってきちんと整理し、これで何を解決したいのかをみんなで共有することを書きちゃんと書くというのが一つ。
- 二つ目が、三重県のスマート改革がすごく参考になるため、ぜひこれを上回るものを作るべきだと思う。
- 最後に先ほどお話が出た、人の問題。民間のモバイルワークの話も含め、医療、介護等モバイルワークが導入しにくい業種業態というのがあるため、すべての産業がという意味ではない。
- 例えば、島根で生まれ育ち、都会で就職する人がいるが、島根に帰ってきてモバイルで都会の仕事をするということはできるため、仕事をする場所と住む場所は切り分けて考えると良い。
- そういう意味では、島根の定住人口をふやす一助になる。
- 都会で世帯を持ち、もう島根には帰れないが島根のために少しでも役に立ちたいと思っている人がいるのであれば、週に三日は都会で働き、週二日島根の企業なりで兼業でオンラインで働くことで、島根の労働力を少しでも増やすことができる。

- 働く場所と住む場所を切り離して考えられる業種も、一定程度あるという観点ベースで産業振興は考える
と良いと思う。

野田会長

- 例えば以前、インターネットの普及率や、光ファイバーの普及率などデータが出ていたが、このように数字としての見える化を行い、そこでのデータの活用も必要ではないかということを感じた。
- それから個人情報の問題が出たが、実はもう Google 等に自分の情報を預けている。有益なサービスが得られるからだと思うが、使う側の方もそういう意識の改革がDXではないかと思う。
- 行政の情報活用も、行政だけでなく、住民の方でこういう意識が変革できるようなことを戦略として組み込むことが必要ではないかと感じた。

以上

島根県 I C T 総合戦略策定に係る策定委員会（第 1 回）

出席者名簿

日時：令和 3 年 5 月 31 日（月）

13 時 30 分～15 時 30 分

場所：島根県職員会館 多目的ホール

＜策定委員会メンバー＞

（敬称略・順不同）

団体・法人名、職名	氏名
益田市政策企画課行革推進室 室長	岩井 加恵
（有）Will さんいん 代表取締役	金築 理恵
美郷町情報・未来技術戦略課 課長	佐竹 一輝
島根大学法文学部 教授	野田 哲夫
シニアネットはまだ 副会長	三上 聖子
（株）三菱総合研究所コンサルティング部門デジタル・イノベーション本部 ICT デバイ戦略グループ 主席研究員	村上 文洋
（一財）島根県情報産業協会 会長	吉岡 宏
シルクスクリーン工房 代表	余島 睦美

＜事務局＞

（敬称略・順不同）

所属	職名	氏名
地域振興部	部長	藤井 洋一
〃	情報政策課 課長	原 圭子
〃	〃 調整監	岡崎 國郎
〃	〃 グループリーダー	梶 博
〃	〃 グループリーダー	増田 達彦
〃	〃 グループリーダー	山本 隆昌
〃	〃 グループリーダー	今田 淳次
〃	〃 企画員	遠藤 裕介
〃	〃 主任	杉浦 祐太
〃	〃 主任	金築 民男
政策企画局	政策企画監室 企画員	月森 亮

以上